

庁舎建設整備事業に係る住民説明会（昼の部）要旨

日 時：令和6年3月21日（金）午後3時00分～午後4時30分

場 所：奥多摩町福祉会館 2階 会議室

参加者：21名

概 要：1. 開会

2. 町長挨拶

3. 説明

(1) 『みんなで作くり、次世代につながる庁舎』

～奥多摩町役場新庁舎建設に伴う基本設計（案）の概要について

(2) 質疑

4. 閉会

※主な質疑の内容

参加者	新庁舎に入るATMというのは、指定金融機関等のようなものが入るのか聞かせていただきたい。
事務局	現時点での考え方ですが、町役場の指定金融機関としてJA（農協）が入っており、現役場庁舎と西東京バスの間にATMのスペースがあると思いますが、基本的にはそちらのATMの設置を予定しています。
参加者	駅から地下通路で新庁舎へ向かう動線計画ですが、こちらの方はもう難しいという判断で無くなっているのか、そのあたりの現状を教えてください。
事務局	駅からの地下通路の計画についてはというところでございます。これも庁舎建設委員会の中でもアクセスの部分が非常に検討協議された事項でございます。その当時、JR八王子支社の社員も委員として入っておりまして、地下通路の検討についてということで、お話をさせていただきました。基本計画策定の後に、正式にJR八王子支社と協議を始めました。現在も協議を続けている状況です。町の建設スケジュールですが、令和9年度に入って新しい庁舎で業務開始を予定している中で、今、JR側からの回答としては、完成するまでに最短で7年間かかるというようなお話があります。物理的には可能というようなお話をいただいているのですが、JRさんも大きな企業でもあってなかなか小回りが利かないということが実情としてあります。それと、基本設計をこれから固めていくので正式な建物の金額というのは出ていないのですが、見込みとして22億円という数字を出させていただいていますが、JRさんもはっきりとは言いませんが、地下通路を造る直工部分になると思いますが、総額が建物の約半分近く掛かるようなニュアンスのお話もいただいております。そうした時に、まず一つには建設スケジュールが合わないということがありますが、そうは言っても新庁舎での業務開始時期が来てしまうので、ハード対応ではない部分のソフト対応ということで、例えばシャトル送迎車両であるとか、西東京バスの乗入れということで、対応を考えさせていただいています。JRさんとも引き続き協議をしていきますが、もうひとつ並行して話をしているのが、トンネル（地下通路）という形ではなくて、ホームに一度上がって、ホームから新庁舎の方へつながるような案も検討させていただいております。こちらにつきましても、やはり町の建設スケジュールには合わないということで、その設計の前に協定を結ぶとか、色々な手続きがありまして、それらを飛ばしては出来ないという話もありますが、今、その検討はしているところでござ

	<p>ざいます。先日、町議会の中でもそういったご質問をいただいて、ホームからどうにか行ける方法は無いですかということで、今お伝えしたようなことも言いました。一番良いのは、最短距離で新しい庁舎の方に行けるのがいいのですが、改札脇のエレベーターを上がって、ホームに出てそこから直に行けるのがいいのですが、そうするとどうしても、線路を跨ぐということになります。新庁舎側のホームの線路は、あまり使われてはいないようですが、1日に何本か停まっているようです。そこは、どうしても安全管理上の問題でJRさんとしては、そこを跨がせる訳にはいかないという話があります。そうでない場合は、どこをとという話になりますが、奥多摩工業側に寄った方ですが、新庁舎側のホームというのは、ホリデー快速が停まる6両用の長いホームなので、なおさら遠くなってしまうのですが、迂回して一番端からということであればという話は現実的に出ています。ただ、終点先の最後のところは、緊急時に電車が停まりきれるよう少し余裕を持って空間がありますので、そのあたりの使い方若干は短縮できるのかなということがありますが、今の時点ではそちらのことも含めて協議をしているというところでは、地下の部分は、物理的には確かにお金と時間を掛ければ可能ですが、果たして本当にそこまでやるのかどうかというところは、その部分のお金を他に回すという考え方もあるのかなというようにも考えますし、ソフトの対応でバスの乗入れだとかそういったことと、もうひとつは、ホームから行けるようなということで、今は暫定的な話にはなっていますが、現状としては、バスやシャトル送迎車両の方式でスタートさせていただいて、継続協議でJRさんの敷地の使い方ということも検討させていただきたいということで、ご理解をお願いします。</p>
<p>参加者</p>	<p>今の現庁舎が今後どうなっていくのか。あの土地や建物がどうなっていくのか、その利用方法について教えていただきたい。また、現役場庁舎横の駐車場は、今まで通りタイムズで使えるような計画になっているのかどうかということをお教えいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>現庁舎はどうなっていくのか、利用の部分ということと、庁舎の横のタイムズが入っている駐車場の部分ということでございます。こちらにつきましても、庁舎建設委員会の中でもお話が出ていまして、答申をいただいた中でも今の庁舎の使い方について、触れていただいています。今の設計業務の中では確定ではないのですが、今の役場横の駐車場（タイムズ：有料駐車場）ですが、こちらは奥多摩工業さんの土地を借りて使っていますが、今回の新庁舎建設で奥多摩工業さんの敷地をかなり提供していただいたということもあり、条件の一つとしては、今の役場の横のタイムズの駐車場の土地は、返還していただきたいというお話があります。そうすると、駅前の駐車場（日原川側の駐車場）が無くなってしまいうということもあり、一つには役場の跡地を駐車場にするという考え方がありますが、まだ、単に駐車場だけなのか、何か複合的なものができるのかということ、これからの話ですが、そのような考え方もあるということで、ご理解をお願いいたします。</p>
<p>参加者</p>	<p>駅の方に対して正面として計画をされていて、とても楽しくイメージの方も伝わるものになっていますが、建物というのはどうしても裏側というのが出てくるとは思います。2階の執務室だとか、町長室だとか、例えば議場なんかオープンにして、小学校側からも何かこのようなことを大人が（町が）やっているよというのが子どもたちにも伝わるような、そんなもうひとつの顔を造っていただけるような建物を望みたいなと思っております。また、小学校側の道からみんなのひろばに入りやすいような動線があると良い。</p>
<p>事務局</p>	<p>氷川小学校との関係の部分ということでございます。今はどうしても話のメインのところは、駅との関係性ばかりお伝えしてしまっているところでは、これも、町議会の中でもご指摘をいただいている、氷川小学校側から役場がどのように見えるかという質問をいただきました。こちらの資料（断面図）にもあるような形で、今の状況ですと氷川小学校のグラウンドの部分より（新庁舎の）2階フロアの高さが同じか若干低いかなというよ</p>

	<p>うな計画になっております。議場であるとか、町長室という部分が高さ的には見えてくるということがありますので、これもJV（設計業者）の方とも検討中なのですが、窓の使い方とか、木の使い方とかもそうですが、庁舎の両側から親しんでいただけるような、また、次のお話にもあったように子どもたちがみんなのひろばにアクセスしやすいようにということで、お話いただきましたが、今後、実施設計に入っていきますので、そこで具現化していき、また目に見えるような形になりましたら、お知らせしていきたいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。</p>
参加者	<p>みんなのひろばですとか、そのようなところが駐車場と面しているということがあって、このみんなのひろばが、名ばかりのみんなのひろばではなくて、やはり駐車場とちょっと隔離したような感じで、みんなが待ち合わせの場所であったり、子どもたちが学校帰りに寄れたりとか、ベンチを置いたりとかして、本当にみんなが集いやすいようなひろばづくりを是非考えていただきたい。よく、駐車場のところに芝生があって、これが「ひろば」だよというようなところもよく見受けられますけれども、出来たときにそうならないように、是非このあたりは、力を入れてやっていただきたい。</p>
事務局	<p>みんなのひろばの部分ですが、こちらについても、まだあくまでイメージ図ですので、具体性が無いというのが実際のところですね。実施設計に向けて、今いただいた意見も参考にさせていただきながら進めてまいりたいと思います。</p>
参加者	<p>新庁舎は、秩父多摩甲斐国立公園の玄関口としての建物でございます、奥多摩の駅舎が木造でございます。こういったものと調和したものをお願いしたいと申し上げておりますけれども、現状、95%の町の山、これを活用しないと町が活性化できないと、こういったことを考えまして、庁舎を木造としていただけるのか。また、木材利用のパーセンテージを教えてください。</p>
事務局	<p>今回の庁舎におきます木材利用のパーセンテージのご質問について回答させていただきますと思います。現在、資料の方の2ページ目、右側上段の方に構造モデルのイメージということで、構造のパースの絵を記載してございます。こちらの方では、木材利用の観点と、一方で防災拠点の機能を果たしていくという観点から、町民に親しみやすい部分については木造、主にその防災機能を果たす役割の部分についてはRC（鉄筋コンクリート）造ということで、こちらのハイブリッドという形で検討を進めているところでございます。</p> <p>一方で、木材利用のパーセンテージというところでは、この構造の木造部分と、これから実施設計で検討する内装における木の利用の部分について、どこにどういった木材を使用するかといったところ、また、町産材ですとか多摩産材の木材をどう利用できるかということも含めまして、これから具体的に決まってくるところでございます。そちらの方はまた進捗がありましたら、パーセンテージの方を算出させていただきます、ご報告させていただきますだけだと思います。</p>
参加者	<p>以前の資料では、地上3階地下2階ということであったと思いますが、現在は、地下2階が無いようですが、これはどのような経緯によってそうなったのか教えてください。</p>
事務局	<p>以前の資料だと地上3階、地下2階という計画であったというお話を今いただきました。こちらについては、ちょうど1年前の資料がこちらにもありますが、その資料に書いてある地上3階、地下2階というのは、今の庁舎の実情を記載しておりまして、そこにはまだ何階にするということは、その時点では書いておりませんでした。延べ床面積は3,800㎡程度ということを書いてありますが、よりコンパクト化を目指して3,100㎡程度に小さくしてきていますというお話をしました。地上3階、地下2階というのは、今の役場の庁舎のことですので、ご理解をお願いしたいと思います。</p>

参加者	<p>小学校の裏の道路についての質問がありましたけれども、これは、大氷川地域が中心地区でありながら、合併当初に道路建設を計画したところ、国道とJRのトンネル2箇所について、土圧がかかるなどで、他の地区に（道路計画が）いってしまった。35年間も放置しておいて、現状も相当の戸数があるわけで、住民が非常に不満に思っております。財政力が無いかもしれませんが、そういったことを考えて、早急をお願いしたいと思います。小学校の裏の道路については、是非庁舎の建設と併せて唐沢地区だけでも（道路の整備が）出来ますようにお願いします。</p>
事務局	<p>今回の建物計画に関連して、裏の道路の方にも影響があるというようなお話、過去のお話もございましたけれども、確かにこの建物を建設する際には、裏の町道に若干影響が出る部分は見込まれています。その部分につきましては、しっかり手当を行いまして、庁舎の建設を進めながら道路機能をしっかり確保できる、そのような施工方法なり、仮設方法等を今後検討してまいりますので、問題のないように検討させていただきたいというように考えています。</p>
参加者	<p>最近、自然災害が多発していたり、また、世界の情勢が破壊されている状況でございますけれども、防災と防衛、こういった点からも、地下があれば本当はシェルターでも造ってもらえればいいと思いますが、これはどうなっているか。東京都も盛んにシェルターという問題について検討して、補助ということも考えているということですか。</p>
事務局	<p>自然災害が多発しているということで、防災防衛面からシェルターのお話はどうなっているかということですが、1年前の説明会でも同様の質問をいただいております。今回、こちらの図面でお示ししているとおり、地下についてはコストの関係も含めて、地上2階建てというところで諸室が収まるという形でございますので、ちょっとシェルターの考え方というのは、現状ではございません。ただ、防災拠点というお話もありますので、その部分については、両サイドを鉄筋コンクリート（RC）造ということで、より強固な形で、なおかつ木も使いながらバランスを取らせていただいているということで、ご理解をお願いしたいと思います。また、地下シェルターの設置については、国や東京都レベルのお話になってきます。実際に国や都もそういった話も出始めておりますので、そこにアンテナを張りつつ町としてもできる部分は住民の安全のことを考えていながら進めてまいりたいと思いますので、ご理解の方をお願いします。</p>
参加者	<p>公共建築物の木材利用促進法、こういったものが林野庁等においても、現在法律が認められて、木材の利用促進ということで（補助を）15%位出せるということのようでございますけれども、この点についてはどうなっているか。総工事費というのが前は書いてありましたが、今回書いていませんが、そういったことの検討はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>建設費の状況が書いていないというお話をいただきましたが、こちらにつきましては、（資料表面の）新庁舎の概要というところの「なお、新庁舎建設に係る概算事業費につきましては」というところで、庁舎本体で約22億円、全体の総事業費では約30億円という見立てをしているということを記載してございますのでご理解をお願いいたします。また、ここには書いてありませんが、木材を活用する場合、国や都の補助制度があるのも承知しておりますので、そういった部分も財源として活用してまいりたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。</p>
参加者	<p>コンパクト庁舎という話も随分（建設）委員会でも出ました。議会は、議員さんの活動も奥多摩の中では一番重要だと思っておりますが、議会の開催は年間30日前後で残り11か月は空いているわけで、その議会のスペースをどのように他の色々な行事や目的に合ったような会議に使えるような構造にするのか。例えば、固定式ではなくて、パーティションの活用であるとか、そのような意味で休会中の施設の共有使用について、この施設ではあまり考えられていないような気がしますが、そのあたりの考え方は持っているのか。</p>

事務局	<p>本日の住民説明会に先立ちまして、町議会議員の皆様にもこの資料をお示ししてご意見を頂戴しております。今ここにお示ししている中でも、まだ机の配置だとか、椅子の配置というのは、決めてございません。ただ、議会の方でも議場については、意見を出させてほしいということで、先日要望をいただきました。ただ、その内容は、今の色々な議場や議員の控室、委員会室などを今と同じように配置して数をそろえてほしいということでしたが、それは現状クリアできているという状況です。次にもう一度、使い方等について出しますよというお話をいただいております。基本的には、まだいただいていないので口頭の部分のみですけれども、多目的、いわゆる固定化ではない部分というのも視野に入れて、何かの際には他にも使ってもらえるような形も想定しているというようには、町、私共も受け止めているというところですが、ただ、まだちょっと書類（要望書）が出てきていないので、どのように使うという断言はできないのでご了承をお願いいたします。</p>
参加者	<p>窓口業務ですが、例えば、今までみたいに役場に来なさい、そうすれば色々な手続きをしますよということではなくて、奥多摩は非常に高齢化が進んでいるし、地域も小河内から古里まですごく離れていますので、もちろん出張所などもあります、やはり人口も少なくなっていて、それから、これからは、デジタル化とかオンライン申請の発行もどんどん進んでいくと思うと、受けるのではなくて訪問型の窓口業務という。例えば、どこかのお年寄りが、住民票が欲しいということであれば、あるいは用件があれば、そちらに出向いて用件を聞いて、必要なものを揃えるような、そのようなことが奥多摩町では出来るのではないかと考えておりますので、そのような考え方を少しは反映させた形での設計になっているのか。</p>
事務局	<p>窓口業務に関連してということで、これも建設委員会の頃からご意見をいただいている部分です。確かに高齢者の部分で役場に来られない方もいらっしゃるということで、それが窓口に限った話でもなくて、既に地域包括であるとか奥多摩病院もそうですが、訪問診療もかなり奥多摩の方は進んでいるという話もあります。先日、議会の中でも奥多摩病院の井上院長が来られて、奥多摩から逆にそのような部分を発信しているというお話をさせていただきました。そういった中で、窓口業務ですとか証明書類（の発行）がどうかというお話だとは思いますが、このあたりについて、デジタル化というお話もいただきました。こちら、議会の一般質問の方で庁舎を新しくするのに際してということで（後日会議録がオープンになりますが）そのような質問もいただきました。デジタル化の部分で言いますと、DX推進ということで、国もそうですが東京都もデジタルサービス局などをつくり、市町村と標準化サービスのようなシステムを含めてやっているという話があるのと、国はBPRということで、業務改革ということを進めていきなさいというお話をしています。今回、庁舎の建て替えになるので、そういったタイミングで業務の棚卸をして、まずは今の業務状況、業務量などの点検をして、その上でデジタル化を出来るものと出来ないもの等を振り分けていきたいと思いますという国のガイドラインがあります。それを令和6年度に予算化しまして、先般議会で承認をいただきました。令和6年度はそれを進め、その後に庁舎が移るまでの間に、どの部分がシステムで済むものなのか、現状、人的な余裕がないので逆にDX化をすすめるなければいけないという、もう、背に腹は代えられない状況ではありますが、そういった中でも、結果として少し余裕というか、何か次の一手が出来るかなという状況になったら、そのようなことも視野に入れながら、進めていきたいと思っておりますので、今すぐに回答と言いますか、このようにしていきますとは言えませんが、動きはあるということで、ご理解をお願いいたします。</p>
参加者	<p>防災機能ですが、今日も地震がありました。1月に能登半島の災害があって、その教訓をどのように、今後も含めて活かしていくかだと思います。高齢化の問題では、珠洲市というところでは53パーセントと言っていました。奥多摩と似ています。それから、今回</p>

	<p>の地震によって、一つひとつ機能が停止して、要するに分断されて集中的な管理が出来ないということになっていますので、そのような意味では奥多摩はもう少し小さいのですが、非常に参考になる事例であったのだと（申し訳ないのですが）。ですから、是非そのあたりをどのように今後活かしていくのか。それから、私は氷川、古里、小河内、日原地区、そのような所に、集中の管理はいいのですが、分散した機能も持たせるようなことをしていかないと、大きな災害の時は厳しいと思うので、こんなことも考えていただいたらいいのかなと。その部分も視野に入れているのかどうか。</p>
事務局	<p>防災の部分ですが、能登の震災の部分はどう活かしていくかということで、奥多摩も東京都の10分の1の行政面積をもってまして、過去の大雪の災害の際もそうですし、令和元年の台風19号の時にも日原地区が孤立してしまったということもありました。大きな災害があるとそういう被災地になってしまうというのは、これまでも経験しているところがございます。そういった中で、氷川、古里、小河内といったところにどのようなケアをしていくかというお話かと思えます。こちら先ほどの窓口業務ですとかDX化とも繋がる部分ですけれども、現在、第6期長計のワークショップなども開催させていただいておりますが、その中でも話がありました。現状の職員数100人程度では、行政だけで町内全地区を対応することは困難で、やはり出来ることと出来ないことがあります。このため、デジタル化を図るということも一つですし、また、役場だけではないということであれば、自治会は今、自主防災組織も立ち上げていただいておりますし、同時に消防団のこともありますので、そういった「連携」になってくるのかなと思えます。庁舎の建物の話とこの件はちょっとそぐわない部分はありますが、そういった部分で、活かしていくのか、対応を図っていかねばいけないと考えておりますので、お願いします。</p>
参加者	<p>関係人口をどのように増やしていくような庁舎を造るつもりなのかということですが。やはり、これから奥多摩町が生きていくには、奥多摩が好きだとか、奥多摩に色々な理由で来ていただく方とどのような良い関係、あるいは、お付き合いをしていかなんだと思えます。先ほども話が出ていましたが、その時の論議を聞いていますと、庁舎の中に色々な文化交流施設、憩いの場、特産品の展示場など色々ありました。それは全部出来ないのはわかっているのですが、それと、もうひとつは庁舎の中ですと、休日もあるわけで、休日は対応できない、そんなことを考えると、庁舎の中ではなくて外のところに、特に土曜、日曜などに関係人口にあたる人たちが交流できたり、あるいは、何か物を売ったりだとか、そのようなものを造った方がいいのではないかというような話も出ていたはずなので、そのあたりについて何か考え方があったら、お聞きをしたい。</p>
事務局	<p>関係人口をどう増やすかということと、休日対応できないので外のところで交流できるものというお話をいただきました。これについても、おっしゃるとおりで、出来ること出来ないことがあります。一つには、今回みんなのひろばというところで「屋外防災ひろば」としてありますけれども、それは有事の際という考え方で、日常的にはそれぞれ、現在、駅前広場でキッチンカーを出してもらったりしていますけれども、みんなのひろばとして他の方々も賛同していただける方がいれば、そういった使い方もできたらいいなと（具体的にはありませんが）、そういった想定もしながらこのひろばを使っていただければ。その時には、（一般の駐車場に）車両を置かせるのか、もっと広く使わせるのかなど含めて、それは逆に言うと、庁舎建設委員会の中でも、委員長であった松本先生がおっしゃっていた、建物が出来ておしまいでなくて、出来たところからどう使っていかというお話をされたと思うので、我々もそのあたりを想定しつつ、どのような使い方ができるのかを我々も考えますし、皆さんにも考えていただきたい。そういった部分は、またパブリックコメント等でご意見をいただければありがたいなと思っておりますので、よろしくお聞きしたいと思えます。</p>

参加者	<p>この設計方針の中にも防災拠点の機能を果たせる庁舎ということを謳っております。確かにこの庁舎の中では、災害対策室を設けたり、防災無線室をまとめたりということと対策をとっているようなのですが、実際にこの裏にある小学校が防災拠点の一部になるのではないかと想像するわけです。これだけの広場は町中には無いわけですから。その時に、庁舎から行く道が無いのでは。現状でいくと踏切側を通らないと小学校に行けない。せめて通路ぐらいは付けて防災対策を考えているよと言うぐらいのことはやったほうがいいのではと思っています。</p> <p>小学校からみんなのひろばへの子どもたちの通路というものを兼ねたものができればいいかなと思います。</p>
事務局	<p>今回、新庁舎が防災拠点という意味合いと、小学校が避難所という考え方、そういった用途があるわけですが、ご指摘いただきましたように、防災拠点から小学校にも広いグラウンド等がありますので、そちらの有効的な活用という意味でも、アクセスということは、検討しているところですが、まだ明確なルートというところでは位置付けてきておりませんので、今後検討させていただければと考えております。</p>
参加者	<p>最初の説明で、奥多摩工業側からの車両の出入口について、専用道路という説明をされたのですが、専用道路になるのですか。車両の通路ですが。もし、専用道路となると、奥多摩工業が通れなくなります。そうすると、奥多摩工業の出入口が無くなるのかなど。</p>
事務局	<p>車両の専用道路という部分ですが、あくまで人の歩く部分と車両用の専用道路ということで、役場に行く人の歩く道と車の道は別で、車専用ということ。もちろん奥多摩工業の車両は出入りします。ただそこは、奥多摩工業側も役場の庁舎に行くのに、奥多摩工業の工場に入ってきてもらっては困るという話もありますし、そのあたりは今、設計業者の方とも詰めているところですが、3方向から車が入り出すような形になりますので、信号的なものなのか、物理的に止めてしまうものなのか、安全に配慮して実施設計の中で進めてまいりたいと思います。</p>
参加者	<p>2ページ目のイメージ図の（左から）3枚目、みんなのひろばから望むというものですが、思いやり駐車場に屋根を設けますという説明をされたのですが、このイメージからするとここは思いやり駐車場ではないのではないかと見えるのですが、聞き違いなのかどうか分かりませんが、説明していただければと思います。</p>
事務局	<p>イメージ図のみんなのひろばから望むというところで、思いやり駐車場の屋根のところがちよっと違うのではないかと位置関係の話もありましたが、すみません、これもまだイメージ図ですので、正確に縮尺だとか方向が正しいという状況にもなく、あくまでも濡れないように思いやり駐車場から（役場）入口まで行けるようにしたいということのイメージということで、今の段階ではご理解をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
参加者	<p>太陽光発電を設置すると補助金とか色々出るということがあって、この計画書をみると太陽光発電ということが書いていないのですが、屋根の面積も広くて、災害時だとか例えば自前で発電して蓄電すれば何かの時には有効活用できるのではないかと気もしますので、太陽光発電と停電時に対する対応をお聞きしたい</p>
事務局	<p>太陽光発電等の設置・導入についてですが、こちらについては、資料表面の新庁舎の概要3行目括弧書きの部分に「2階建て太陽光設備の導入を検討」と記載しており、設置をしていく方向で考えております。当然、補助金の活用も考えているということでご理解をお願いいたします。</p> <p>また、停電時の対応としましては、自家発電設備の設置を検討しておりますので、そちらを用いて停電時にどれくらい活用できるかというところを検証しながら、その容量ですとかを今後定めていきたいと考えております。</p>

参加者	<p>地下の設定は、造るとしても地下1階位までかなとは思いますが、例えば駐車場にしたり、機械類を設置したりと色々活用方法があると思いますが、役場庁舎も庁用車が60台くらいありますので、緊急的な運用とか必要かなとは思いますが、これを見ると5台しか駐車できないので、その地下の検討というのはどのようになっているのかお伺いします。</p>
事務局	<p>検討の中で地下利用というところは、これまでずっと検討してきたところではあります。JRからのアクセスの話も絡めて、今後の庁舎の費用対効果というところを考えた場合に、単純に地下を造るとどれくらい掛かるかというところも含めて検討してきたところでございます。それについては、単純に庁舎の面積でそのまま地下を造ろうとすると、現在検討している費用の1.5倍程度は膨らんでくるだろうという概算は出しておりましたので、そこを考えますと、今回の庁舎の中では、費用対効果ということでは、あまり効果が出てこないのではないかなということ考えておりました。</p> <p>また、役場の車両が5台程度しか置けないという話をいただきましたが、こちらについては、消防車両ですとか緊急的な車両、すぐに使いたいものは近場に置きますが、それ以外の車両については福社会館の地下駐車場がそのまま利用できますので、そちらを活用していくということでございます。ご理解のほど、よろしくお願いたします。</p>
参加者	<p>氷川小学校の上が土砂災害の危険地域に指定されていると思えます。そういった関係から、地下を造るのだと思っていたが、それがいつの間にか消えていたから、知らぬ間に消えていたが、どういうことか。</p>
事務局	<p>土砂災害警戒区域の関係で地下を造るべきではないかとの話をいただいたのですが、現状としては、色々な法規制の部分をちゃんとクリアしながら建設計画を立てております。地下シェルターを造れば安心だという考え方は尊重したいのですが、現実的に先ほども申し上げていたように、地下を造ると単純に今の建物建設費の1.5倍位掛かってくると、実際どうなのだろう（費用対効果があまり出てこない）というお話もあるので、その地下シェルターなどの考え方は今持っていないということで、ご理解をお願いしたいと思います。</p>
参加者	<p>林野庁の公共建築物の木材利用促進法の施行によつての15%について考えていないようですが、現在、30億の総工事費で、令和4年度で17億、5年度、6年度でいくらになるかわかりませんが、その概要、そういった点はどうなっているか。なぜ木材の使用が少ないのかわかりませんが、15%の林野庁の補助が入っていないようですが、こちらは検討していないのかどうか。</p>
事務局	<p>木材利用について、林野庁の補助のお話もいただきました。資料の中では、今のところ積立基金や総合交付金、また、先ほど太陽光発電のお話もしましたが、そういった補助金の活用も検討してまいります。町有林もあり、そこからの伐採等も考えておりますが、そういったところでも、国や都の適用できる、使える補助金は当然探って、活用していく予定です。</p>